

昭和41年6月10日発行

発行所 鹿児島市秘书課  
 編集発行人 大西哲夫  
 印刷所 南日本新聞社印刷局

# かごしま 市政だより

市政テレビ放送

4月から市政広報テレビ番組「明日の鹿児島」を、毎月第1、第3日曜日の午後5時52分から8分間、南日本放送を通じて放送しています。



(昨年6月、祇園洲で行われた水防訓練)

## 後半に大雨のおそれ

暦のうえでは、十一日から梅雨にはいります。気象台の予報によりますと、こどしの梅雨の雨量は平年並みですが、後半にはいってから、局地的に大雨の降るおそれがあるということです。梅雨は農家の田植えにとってなくてはならない自然の恵みですが、長雨や豪雨による灾害は、毎年あとを絶ちません。ことしも四月に季節はずれの大雨が降り、すでに灾害が発生していますが、これから本格的な雨期を迎えます。そこで、つねに気象予報などに注意して備えを怠らないようになります。市でも、長雨や豪雨に対し、いろいろと対策をたてており大きな災害が発生すると予想されるときは、市役所内に灾害対策本部を設け、かねて定めてある防災計画にしたがって、応急対策など必要な処置をとることにしています。

## 梅雨時の災害に備えよう

### 後半に大雨のおそれ

雨による災害としては、がけくずれ、側溝の溢水による浸水、河川のはんらんによる

河川については、甲突川など市内を流れる八つの川の流域十三カ所を危険箇所として注意しています。

これらは河川には、水量をはかり河川はんらんの危険を

防災会議を開き、市内にある八十二の宅地造成箇所のうち

長雨や豪雨によって災害のおこるおそれがあり、とくに大きいと予想される三十一カ所を新たに宅地造成危険箇所として指定し、警戒を強めることにしました。

そこで、市では、このほど防災会議を開き、市内にある八十二の宅地造成箇所のうち長雨や豪雨によって災害のおこるおそれが、とくに大きいと予想される三十一カ所を新たに宅地造成危険箇所として指定し、警戒を強めることにしました。

また、市消防本部、県、警察、労働基準局などといつしょに宅地造成業者との話し合いを持ち、○工事を始める前に排水路を整備すること○災害の発生が予想されるときは工事現場を巡回し警戒すること○災害の発生に備えて平常から応急資材を準備しておくことなど、災害を未然に防ぐた

## 気象予報に注意を

### 危険なときは早めに避難所へ

市では、みんなの安全を

はかるために、学校など十八

カ所を避難所として指定して

います。がけや川のそばなど危険なところに住んでいる人

は、つねに気象予報に十分注意して、長雨や豪雨のときは

早めに市の避難所か、その他

の安全な場所に避難するよう

に心がけましょう。市の避難所は、つぎのとおりです。

○夜具や衣類など、浸水して

ぬいておくこと

○ふだんから避難所への道順を考えておき、がけ下や川のふちは通らないこと

倒をみています。

南小、武小、玉江小の三つの学校にこのほど留守家庭児童会が設けられました。これはカギッ子たちが、さびしさから非行化してゆくのを防ぐために設けたもので「こばと児童会」と名付けられています。各児童会とも、二人の指導員が、一週四日間、子どもの下校時から午後六時まで、いろいろと面

## 犬は捨てずに保健所へ



(町中をうろつく野犬)

## 留守家庭児童会が発足



(玉江小のこばと児童会)

めに、業者の協力求めました。当局側としても、災害の発生が予想されるときは、防災合同パトロールを行なって危険箇所を巡回し、必要があれば、工事施工者に防災上の指導監督を行なったり、地区民の避難指導などにあたることにしています。

河川については、甲突川など市内を流れる八つの川の流域十三カ所を危険箇所として注意しています。

これらは河川には、水量をはかり河川はんらんの危険を

防災会議を開き、市内にある八十二の宅地造成箇所のうち

長雨や豪雨によって災害のおこるおそれが、とくに大きいと予想される三十一カ所を新たに宅地造成危険箇所として指定し、警戒を強めることにしました。

そこで、市では、このほど防災会議を開き、市内にある八十二の宅地造成箇所のうち長雨や豪雨によって災害のおこるおそれが、とくに大きいと予想される三十一カ所を新たに宅地造成危険箇所として指定し、警戒を強めることにしました。

また、市消防本部、県、警察、労働基準局などといつしょに宅地造成業者との話し合いを持ち、○工事を始める前に排水路を整備すること○災害の発生が予想されるときは工事現場を巡回し警戒すること○災害の発生に備えて平常から応急資材を準備しておくことなど、災害を未然に防ぐた

めに、業者の協力求めました。当局側としても、災害の発生が予想されるときは、防災合同パトロールを行なって危険箇所を巡回し、必要があれば、工事施工者に防災上の指導監督を行なったり、地区民の避難指導などにあたることにしています。

河川については、甲突川など市内を流れる八つの川の流域十三カ所を危険箇所として注意しています。

これらは河川には、水量をはかり河川はんらんの危険を

防災会議を開き、市内にある八十二の宅地造成箇所のうち

長雨や豪雨によって災害のおこるおそれが、とくに大きいと予想される三十一カ所を新たに宅地造成危険箇所として指定し、警戒を強めることにしました。

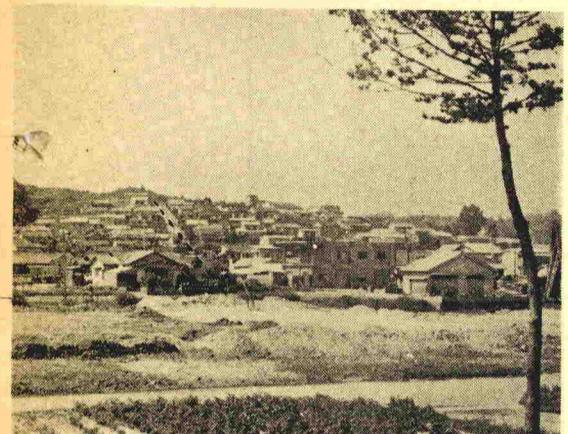
そこで、市では、このほど防災会議を開き、市内にある八十二の宅地造成箇所のうち長雨や豪雨によって災害のおこるおそれが、とくに大きいと予想される三十一カ所を新たに宅地造成危険箇所として指定し、警戒を強めることにしました。

また、市消防本部、県、警察、労働基準局などといつしょに宅地造成業者との話し合いを持ち、○工事を始める前に排水路を整備すること○災害の発生が予想されるときは工事現場を巡回し警戒すること○災害の発生に備えて平常から応急資材を準備しておくことなど、災害を未然に防ぐためには、必ずしも、捕獲補助員を増員したり、おとし箱を設けたりして野犬退治に力を入れてまいりますが、犬を捨てることが野犬が増える一番大きな原因です。いらないなくなった犬は、保健所へ連絡ください。野犬が増える一番大きな原因です。されば引き取りますので、絶対に捨てないようしましょう。

また、毎年雨期前には、市建設部の職員や消防署員、消防団員などを中心に、水防工法、出動、輸送、炊出しなどこのことに十分注意します。

○火災がおきないように火の始末を完全にすること○ガスの元栓をとめ、電気器具などのコンセントは必ずぬれないとそこに置きかえておくこと

○ふだんから避難所への道順を考えておき、がけ下や川のふちは通らないこと



昭和35年当時(上)と現在(下)の鹿児島・谷山兩市の市境附近

## 市議会での審議ははじまる

### 谷山市との合併議案

鹿児島市と谷山市は、あらゆる面においてその生活基盤を一にし、もはや境界を必要としないほど密接な関係にあり、鹿児島市が、今後南九州地方の政治、経済、教育、文化、観光の中心都市としてさらに発展を続けるためには、谷山市と合併することが必要です。そこで、両市の間で再三にわたり、合併についての話しを続けてきましたが、本日（六月十日）開会した市議会に、両市合併の議案を上程しました。これで、長年の懸案であった両市の合併問題もいよいよ大詰めの段階を迎えたわけです。そこで、これまでの経過や議案の内容について説明いたします。

### 協議は両市長由十年で

鹿児島・谷山両市の合併問題は、これまで、再三両市の間に検討されてきましたが、合併を推進することを満場一致で議決しました。ついで昨年十月には、両市から市長、助役、議長、副議長、議会代表六名、計十名づつの委員を選出して合併協議会を設け、合併についての具体的な審議にはいりました。

以来、協議会は八回にわたって開かれ、協議会事務局で作成した案をもとにして、新市建設の基本方針や財政計画合併の時期、形式など、合併審議にはいりました。

そこで、両市の市長が、そろそろもむづかしくなります。そこで、両市の市長が、そろそろもむづかしくなります。

◎ 今年度中に合併すること

の責任において、合併に必要な事項を協議して、合併する

に必要な協定事項について審議を続けてきました。この間

谷山市側からは、谷山市としての統一された意見が表明されましたが、鹿児島市側では

これまでにいたしましたが、鹿児島市側では

統一した意見を出すにいたり

ませんでしたので、協議会と

しての結論を出すことができなくなりました。

しかし、鹿児島市の市長お

としましたが、これは、つぎ

うち、主なものについて説明

いたしました。

◎ 合併の期日

昭和四十二年四月二十九日

◎ 合併の理由

昭和四十二年四月一日に

合併するとすれば、以後予

算市会（三月）中に市議会

議員の選挙を行なうことに

なり無理がある。

◎ 合併の期間

昭和四十二年四月二十九日までに、さらに一層両

市間の理解を深め、また合

併の事務的な手続きのため

に、適当な期間を設ける必

要がある。

◎ 合併の形式

昭和四十二年四月一日に

合併するとすれば、以後予

算市会（三月）中に市議会

議員の選挙を行なうことに

なり無理がある。

◎ 合併の時期

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 新設合併とする

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

全域とする

◎ 合併市の名称

鹿児島市とする

◎ 合併の形式

昭和42年4月29日

◎ 合併の範囲

鹿児島市および谷山市

&lt;p



# 七月から結核住民検診

## 検診日をはがきで通知

七月四日から各地域を巡回し、無料で結核住民検診を行なっています。

世帯ごとに通知

この検診の対象者は、十六才以上の人（職場や学校で集団検診を受ける人を除く）と六才以下の乳幼児（幼稚園児や保育園児を除く）です。ところでの住民検診の受診率があまりよくありません。

家庭の主婦やおとしよりな学校や地区の公民館など、も

どのうち、昨年この検診を受けたのは、約三割です。

同じ日に会場で行ないます。

来年の入学児は必ず受診を

同期から手当がもらえま

Aは、とくにたくさん含ま

れているので、病気に対す

る抵抗力をつけるのに役立

ます。

ビタミン不足

には、総合ビタ

ミン類が不足し

ます。

うことも必要で

すが、料理をくふうして変

化にとんだ食事をとること

が大切です。

そこで、レバー料理をお

すすめします。

うことも必要で

すが、料理をくふうして変

化にとんだ食事をとること

が大切です。

うことも必要で

すが、料理をくふうして変

化にとんだ食事をとること